

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域の子供たちとの交流の機会を作る。	地域の子供たちと触れ合い、ご利用者の笑顔を増やす。	今後も小学生の体験学習を受け入れていくとともに、新たに保育園との交流行事を企画・実施していく。	12 ヶ月
2	26	ご本人や家族とこれまで以上に密に介護計画の話し合いを行う。	ご本人・家族・職員・関係機関が一体となって、介護計画の作成・実施・モニタリングを展開する。	今後ご本人・家族と一緒に介護計画の話し合いを行い、職員も尚いっそう一緒に共有する。介護計画に詳細なケア内容を追加するとともに、リハビリの目標などを共有し、目標等を具体化していく。	2 ヶ月
3	4	運営推進会議をさらに充実したものにしていく。	行事報告だけでなく、もっと地域との連携を深めたり、認知症への理解を地域に発信する会議にする。	「災害対策」や「認知症の介護教室」等の議題を考え、運営推進会議を消防団等との連携を強化したり、認知症のことを地域の方へ啓発したりする場にしていく。	12 ヶ月
4	40	食事を通して、日々の生活を生き活きたものにしていく。	食べるだけでなく、食事の準備や後片付けも含めて、ご利用者の生活に彩を添えるものにする。	今後も家庭的な雰囲気を大切にしつつ、下ごしらえや味見・後片付け等ご利用者が「できそうなこと」を引き出し、生活を生き活きたものにしていく。	3 ヶ月
5					ヶ月